

「東北ハウス」で実施した伝統工芸品の製作体験をご紹介します。

製作体験の様子



伝統工芸品の製作体験エリア



職人から手ほどきを受け、製作をする様子



リモートによる製作体験の様子

金魚ねぶた絵付け体験

青森県弘前市



「金魚ねぶた絵付け体験」の「金魚ねぶた」は、津軽錦とよばれる金魚がモデルとなっています。江戸時代の明和年間(1764~1771年)、弘前藩士が京都から持参した金魚を藩主に献上したのが始まりとされています。金魚は元来「幸運を呼ぶ魚」と云われ、当時の庶民はそれをねぶたにして広め、現在でも弘前ねぶたまつりの際には、「金魚ねぶた」を手に持ち街を練り歩きます。体験では、白地の金魚ねぶたに自由に絵付けいただきました。

リファインドアンバー[※]による
琥珀勾玉作り体験

岩手県久慈市



岩手県久慈市は日本で最大の琥珀産出地です。近年では、琥珀と一緒に恐竜化石も続々と発見されるなど、太古のロマンを感じ取ることができます。リファインドアンバー[※]による「琥珀勾玉作り体験」では、縄文時代の琥珀玉作りを見習って、手作業で琥珀を削り・磨いて勾玉を製作いただきました。

※精製された琥珀

弥治郎こけし絵付け体験

宮城県白石市



「弥治郎こけし」は宮城県白石市の弥治郎地域を中心とした地域で400年もの間、継承されてきた歴史的な伝統こけしです。ろくろで描かれた頭部の線は、まるでベレー帽をかぶったような愛らしさがあります。子供のようなあどけない表情や、胴体の色鮮やかな色付けと花模様も特徴のひとつです。体験では、白地のこけしに自由に絵付けいただきました。

大館曲げわっぱ製作体験

秋田県大館市



「大館曲げわっぱ」は、江戸時代から変わらぬ技法で、全て職人の手仕事により丁寧に作られています。国の伝統的工芸品に指定され、秋田を代表する特産品でもあります。「大館曲げわっぱ製作体験」では、榿綴じ・底入れ・仕上げの製作工程を行います。材料として使うのは、調湿効果と抗菌効果にすぐれた北国の天然杉です。体験では焼きたてのパンの蒸気を適度に吸い、さっくりとした食感をそのまま味わえるパン皿を製作いただきました。

書き駒体験

山形県天童市



山形県「天童将棋駒」の製造は江戸時代から始まったと言われています。現在ではプロ棋士のタイトル戦でも使われており、日本一の生産量を誇ります。駒文字には楷書体と草書体があり、特に草書体は「天童将棋駒」に伝承されている独特で美しい文字です。体験では、駒木地に漆で好きな文字を書いていただきました。

赤べこの絵付け体験

福島県会津若松市



「赤べこ」は「子供が幸せに丈夫で元気に育ちますように」と祈願した、福島県会津地方の縁起物です。会津の方言で茶を赤・牛をべこということから「赤べこ」と言います。「赤べこ」は、昭和天皇皇后両陛下が購入され、年賀切手にも採用されるなどして全国に知られるようになりました。体験では、表情豊かな～色を使い、自由に絵付けいただきました。



燕鎚起銅器皿作り体験

新潟県燕市



新潟県燕市周辺で作られる「燕鎚起銅器」は、江戸時代中期に誕生した産業です。一枚の銅板を鎚で打ち、伸ばしたり、絞るなどして様々な形を作ります。「皿作り体験」も、一枚の平たい銅板を様々な金鎚で叩いて小皿を作ります。匠の指導のもと、初心者の方も安心してお楽しみ頂きました。

伝統作並系こけし絵付け体験

宮城県仙台市



宮城県仙台市の作並温泉で江戸末期から作り継がれている「作並こけし」。現在は8代目平賀輝幸氏が伝統こけしを制作しています。「作並こけし」は素朴で可憐な表情と胴体に描かれる通称“蟹菊”という模様が特徴です。材木は主にイタヤカエデ、ミズキを使用しております。体験では6寸(約18cm)の白木の頭と胴体に模様を描いて頂きました。

